



## 「働くという事」

「すべての知識の拡大は、無意識を意識化することから生じる。」 ニーチェ

私たちは何故「働く」のでしょうか？  
人によって働く目的や意義は違いますね。

日本国憲法  
第三章 国民の権利及び義務  
第二十七条 すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。

日本国憲法においては上記の様に勤労について定めています。私たちは働く事が義務であり、権利であり、生活をする為に必要な行為でもあります。

人間がまだ狩りをしていた時代は「働く＝生きる事」でした。それは、個人が生きるだけでは無く、家族が生きる為、自分が所属するコミュニティが生きる為に働きます。

成熟をした社会では「働く事」は様々な意味を持ちます。現代では「働く事」はお金をもらって仕事をするだけではなく、家庭での家事や育児、社会貢献の為にボランティア活動なども広く含まれます。

生活の為に仕事をするだけではなく「自己実現」「やりがい」「地位や名誉」など、より社会性が高い目的で職業を選択する方もいます。

仕事を選ぶ時に「自分がやりたい事」「自分が求められている事」「自分が出来る事」の3つが重要になります。しかし、新卒の方やまだ若くて仕事の経験や技術が身に付いていない人が、始めから「やりたい事」ばかりに目を向けているとなかなか上手く行きません。まずは目の前の仕事に取り組みながら「出来る事」を増やして行き、その中で段々と周りから「求められる」存在へとなって行きます。その先に「やりたい事」が実現出来る様になって行きます。様々な経験する中で「出来る事」が増えてくると「やりたい事」も変化して行く事もあるでしょう。

最初に書いたニーチェの言葉は、私が仕事をする上で大切にしている事の一つです。私たちは直接子どもたちの成長を支援するだけではなく、その子が持っている力を組み合わせて活用が出来る方向性を考えていく時に、その子の興味や得意な事、好きな事を意識化する事で道筋を立てています。

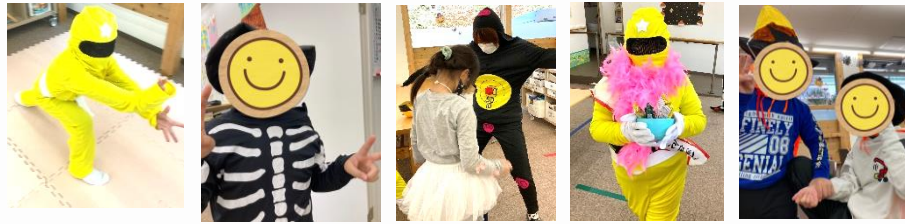
嵯峨健司





# キッズサポートにじいろ 活動報告

## にじいろ狭山活動紹介



10月の最後の週はハロウィーンパーティーを行いました。子ども達が学校から帰って来るところからの演出です。きゃりーぱみゅぱみゅの「クレイジーパーティーナイト」を流しながら仮装した職員が「ハッピーハロウィン！」と出迎えます。子どもたちは衣装の掛かったラックを見て目を輝かせています。私これ着る！次はこれ着る！といろんな衣装を着てみたり、ぱっちり決めて職員に写真を撮ってもらったり、カチューシャやマントを付けて鏡に自分の姿を映しに行ったり、音楽に合わせてダンスをしたり、それぞれの楽しみ方でハロウィーンの雰囲気を楽しんでいました。最後は仮装した職員に「トリックオアトリート！」と言ってお菓子を貰いました。

ハロウィーンに向けた制作活動を行ないました。おぼけの絵がたくさん壁に貼られて、「HAPPY HALLOWEEN」の英文字も壁に描かれました。パソコンで英語を調べて作ってくれた子ども達に感謝です！！

にじいろ入間では、児童発達支援・放課後等デイサービスともに、定期的に制作活動を行なっています。季節の壁面や装飾を職員だけでなく、子ども達と一緒に作り上げています。

## にじいろ入間活動紹介



## 教材紹介

## ～ペットボトル綱引き～

テーブルに置かれた5本のペットボトルに、細長いロープが繋がっています。ロープを引っ張るとペットボトルが倒れる仕組みですが、水が入っているため重量があり、引っ張るには程よい力が必要です。

力が強ければ勝てる、というものでもありません。倒す事で裏面に書かれた得点が見えるようになります。力だけではなく、どのロープを引くかと言う「運」の要素が加わる事で、様々な障害特性がある子ども達も、平等にゲームを楽しむ事が出来ます。次回のお知らせで、盛り上がりの様子を詳しくご紹介します！！

